



「茨木のり子 2024 冬／ 平和のための言の実」の会

□ 沖縄で、茨木のり子の詩を題材にして、戦争のない平和を求める・・・

詩人、茨木のり子は、1926 年に大阪府大阪市生まれ、愛知県西尾市の高等女学校では軍事教練で号令を発したことから軍国少女と呼ばれていました。1945 年の終戦時は 19 歳、戦後は詩人として活動しました。彼女の作品は、戦争体験を軸に、個としての女性を描いたもの、反戦や平和と愛をテーマにしたものも多く、素直で明確な表現力は、「現代詩の長女」として評されています。

当実行委員会会長の佐藤建吉は、2019 年 11 月から、茨木のり子の作品を朗読や音楽で表現する活動を、毎年、継続して行っていて、本年の 2024 年は「茨木のり子詩情世界」と題して、茨木のり子の詩趣を伝える活動を 4 回行います。これまで、春（2 月、東京）、夏（6 月、千葉県）、秋（9 月、神奈川県）を開催、今回は冬（12 月、沖縄県糸満市）を、次のように開催致します。



「言の葉」から「言の実」として平和を次世代継承



沖縄県平和祈念資料館@糸満市

- 日時 2024 年 12 月 21 日 13:30～16:45
(開場 13:00 ～ 閉場 17:00)
- 場所 沖縄県平和祈念資料館大会議室 (沖縄県糸満市字摩文仁 614-1)
<http://www.peace-museum.okinawa.jp/>
- 参加費 一般 2,000 円 / 学生・生徒 無料
- 次第

開会／序《13:30～13:35》MC ムンロ王子（ハイブリッドパフォーマー）

第一部 茨木のり子の詩情世界 《13:35～14:15》

山川建夫（元・フジテレビアナウンサー）

『根府川の家』『雛ぶりの唄』『自分の感受性くらい』

神田雪枝（しまくとぅば普及員）

『わたしが一番きれいだったとき』（沖縄方言による）

第二部 平和祈念活動の紹介 《14:15～15:10》

青柳浩生（佐藤建吉）（実行委員会会長 & 本行事企画者）

井出亜夫／メッセージ（一般社団法人 国際善隣協会 理事長）

平良次子（対馬丸記念館 館長）

県立首里高校生による平和祈念への取り組み

第三部 平和への稔性 《15:10～16:20》

沖国大生が朗読劇で、ムンロ王子が歌とトークで、
平和を表現したのち、参加者全員で平和について意見交換、
青柳浩生がメッセージを残し、まとめとします

閉会／結（終）《16:20～16:45》



M. Ravel

- 主催
「平和のための言の実」の会
実行委員会

連絡先 ksato@kofuza.org
090-1268-5882

〒299-4612 千葉県いすみ市岬町江場土 547-3



沖縄県平和祈念資料館近郊マップ

□ 後援

- 一般社団法人 光楓座
- 一般社団法人 国際善隣協会
- 松戸朗読と文学の会
- 鎌倉共生の会
- 沖縄県教育委員会
- 法政大学沖縄文化研究所
- 沖縄タイムス社
- 琉球新報社
- NHK 沖縄放送局
- 応援＆協力
- 平和を祈念する沖縄有志の会
- 海燕社（古書店うみつばめ）
- 中部電算フォーム